

経営比較分析表

静岡県 袋井市

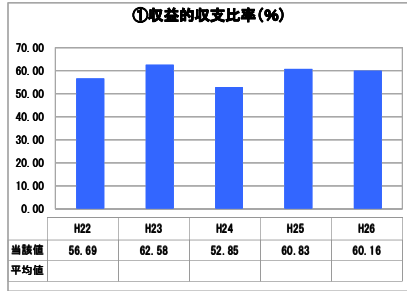
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	0.31	100.00

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
87,163	108.33	804.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
273	0.08	3,412.50

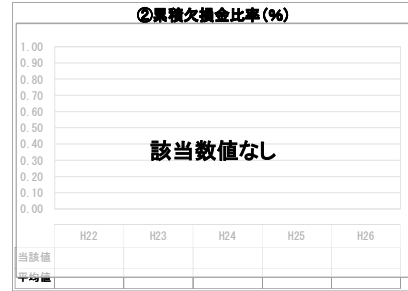
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



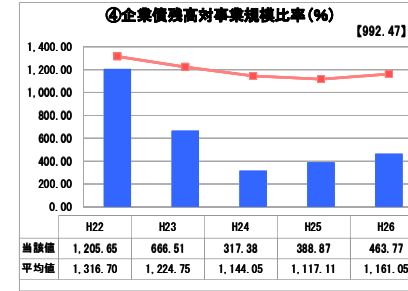
「単年度の収支」



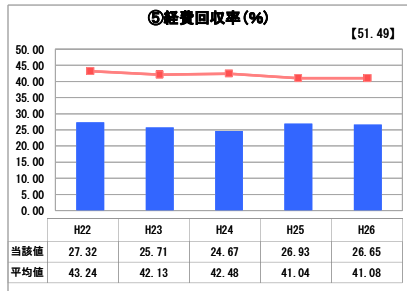
「累積欠損」



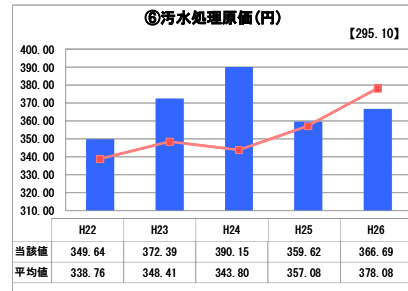
「支払能力」



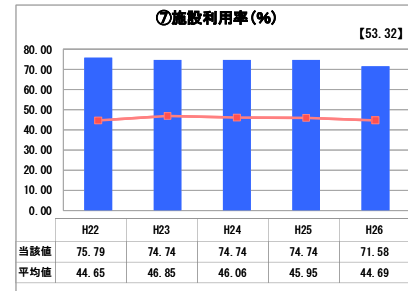
「債務残高」



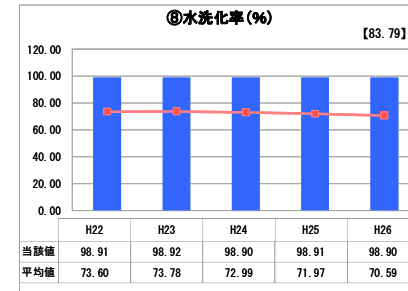
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

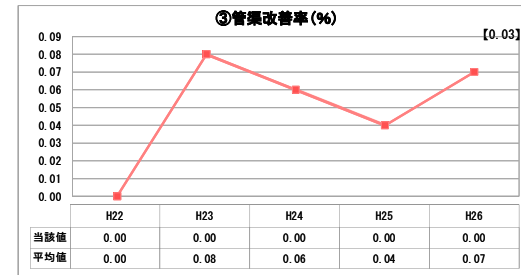
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①については、事業が完了し有収水量に変化はないため、収益は使用料収入のほか一般会計からの繰入金である。
 事業開始後13年が経過し、施設設備の維持管理が中心で更新は実施していないため、H24以外はほぼ同じ水準である。
 ④については、事業開始以降地方債の借入はなく償還のみのため、年々地方債残高は減少している。
 ⑤については、事業の完了に伴い有収水量の増加は見込めないため、類似団体と比べても低い水準である。
 ⑥については、各年度における施設設備の維持管理費の多少に影響されるが、H25及びH26については、計画に沿った修繕等を実施したことにより、類似団体とほぼ同じ水準となった。
 ⑦については、事業計画どおりの処理水量である。
 ⑧については、本事業前の地元説明会や地元管理組合の設置により、事業に対する周知が徹底され、水洗化率はほぼ100%となった。

2. 老朽化の状況について

本事業は完了しており、管渠整備は実施していない。

全体総括

低い経費回収率を改善するため、公共下水道事業等と同様に、使用料の料金体系を定期的に見直す必要がある。
 また、施設設備の効率的かつ効果的な維持管理を行うとともに、中期計画を策定し計画的に更新する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。